

Dr. 笠井の初診所見

チェックの結果

1, 3, 5のどれか一つでも思い当たり、2週間以上声の安静を保つても声がれが続けば声帯ポリープの可能性あり。2, 4, 6は直接声帯を傷害しないが粘膜に炎症を起こす誘因になり得る。

声が出にくかったり声がかれたりするといった、声の質が異常な状態を嚙声をかみこいといえます。声帯が、傷つけられてポリープができることで起こります。

傷つく原因は、怒鳴ったり大声で歌い続けたり、咳き込み続ける習慣、大気汚染やエアコンによる空気の乾燥などの環境的要素、また教師やスポーツインストラクターなど人前で大声で話す職業による要因等が考えられます。対策としては、急性の場合は薬の治療を併用して1, 2週間の沈黙療法が効果的です。

それでも2, 3カ月と長く続く場合は、半年位は声が改善するかどうか経過を見て、声の出し方に問題がある方は腹式呼吸の

練習や発声訓練(ボイス・トレーニング)を行います。手術でポリープを切除しても声の出し方次第で再発することもあります。しかし何も思い当たらない原因が無く

嚙声が続くと、喉頭ガンや咽頭ガンの疑いもあります。その場合は声帯ポリープと同じような「声のかすれ」、「のどの異物感」の症状が起こったり、「呼吸が苦しい」といった症状が起こることがあります。

声の異常だけで声帯ポリープか、喉頭ガンを判断することはできませんから、一般に50歳以上のヘビースモーカーの男性で2週間声がかれた場合は、特に早めに耳鼻咽喉科を受診しましょう。



監修

笠井 創

かさい はじめ

千葉大学医学部大学院 卒
(医学博士)。国保津中央病院耳鼻咽喉科医長、国立がんセンター病院頭頸部外科医員、国家公務員等共済組合連合会/横須賀共済病院耳鼻咽喉科医長、千葉大学医学部耳鼻咽喉科非常勤講師兼任を経て、耳鼻咽喉科気管食道科笠井クリニック(横浜)開設、平成11年に笠井耳鼻咽喉科クリニック・自由が丘診療室開設、現在に至る。
◎笠井耳鼻咽喉科クリニック 自由が丘診療室 〒152-0035 目黒区自由が丘1-29-14 J-フロントビル3F
☎03・5729・4187